

10代・20代を中心とした「ひきこもり」をめぐる

地域精神保健活動のガイドライン

—精神保健福祉センター・保健所・市町村で どのように対応するか・援助するか—

本ガイドラインでは、自宅以外での生活の場が長期にわたって失われている、「ひきこもり」の状態の人への地域精神保健分野における対応の指針が述べてあります。

まず、「ひきこもり」の概念について述べ、「ひきこもり」に関する基本的な理解を示します。次に、「社会的ひきこもり」という状態を中心として、「ひきこもり」事例の相談を受けた場合の基本的態度を示しました。そして、後半には、具体的な援助方法について、さまざまな角度から述べました。

本ガイドラインは、「治療」というよりも、「地域においてまずできることは何か」ということに力点をおきました。したがって、本格的な治療という点では、他の成書を参考にさせていただきたいと思います。

なお、本ガイドラインは本研究班に関わったすべての人々の臨床体験・研究成果をもとにしております。当研究班が2001年に発行した「ガイドライン(暫定版)」をベースにしておりますが、3年間の研究成果を踏まえ、大幅に加筆いたしました。

本ガイドラインが、「ひきこもり」に関わる地域精神保健分野のすべての人々や、困難を抱えるご本人やご家族の、何らかのお役に立てれば、と願ってやみません。

目次

I 章. 「ひきこもり」の概念.....	1
II 章. 関与の初期段階における見立てについて.....	7
III 章. 援助を進めるときの原則.....	13
IV 章. 具体的な援助技法.....	39
1 節 面接のポイント.....	40
-1 初回面接.....	40
-2 家族面接.....	45
-3 本人との面接.....	52
2 節 さまざまな援助技法を活用する.....	57
-1 電話相談.....	57
-2 家庭などへの訪問.....	61
-3 家族向けの心理教育的グループ.....	67
-4 本人向けのグループ活動.....	71
-1 デイケア・居場所.....	71
-2 SSTグループ.....	77
3 節 さまざまな支援プログラムの可能性.....	81
-1 社会復帰への援助.....	81
-2 インターネット相談.....	88
4 節 緊急時の対応.....	91
-1 ケア会議の開き方.....	91
-2 暴力が生じている場合の家族支援.....	98
-3 緊急時対応の法的根拠.....	101
-4 緊急時対応のプライバシー保護.....	105
5 節 援助者のメンタルヘルス.....	108
付録. 「社会的ひきこもり」に関する相談・援助状況実態調査報告	